

平成28年度

事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

愛知県公立大学法人

I 大学の概要

(1) 現況

① 法人名

愛知県公立大学法人

② 所在地

長久手市茨ヶ廻間1522番3

③ 役員の状況

理事長 鮎京正訓

副理事長 2名

理事 3名

監事 2名

④ 大学の概要

○ 学部等の構成

・愛知県立大学

(学部)

外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部、看護学部、情報科学部

(研究科)

国際文化研究科、人間発達学研究科、看護学研究科、情報科学研究科

(全学教育研究組織)

入試・学生支援センター、教育支援センター、教養教育センター、

学術研究情報センター、地域連携センター、看護実践センター

・愛知県立芸術大学

(学部)

美術学部、音楽学部

(研究科)

美術研究科、音楽研究科

(全学教育研究組織)

芸術教育・学生支援センター、芸術創造センター、芸術情報センター、芸術資料館

○ 学生数及び教職員数（平成28年5月1日現在）

・愛知県立大学（新・旧）

学部学生 3,299名

大学院学生 226名

教員 219名

・愛知県立芸術大学

学部学生 810名

大学院学生 168名

教員 87名

・法人事務局

職員 190名

(2) 大学の基本的な目標等

① 愛知県立大学

愛知県立大学は、平成 21 年 4 月に当時の愛知県立大学と愛知県立看護大学を統合し、「豊かな人間性と高い知性を備え、かつ、国際性、創造性及び実践力に富む有為な人材を育成する」ことを目指した新愛知県立大学としてスタートした。現在は、長久手キャンパスと守山キャンパスを合わせて 5 学部 10 学科と大学院 4 研究科から構成されている。

○ 愛知県立大学の理念

- 1 21 世紀の「知識基盤社会」において、教員と学生が相互に啓発し合いながら「知の拠点」を目指す。
- 2 「地方分権の時代」における公立の大学として、良質の研究とそれに裏付けされた良質の教育を行い、その成果を社会に還元する。
- 3 「成熟した共生社会」の実現を目指して、教育研究と地域連携を進める。

② 愛知県立芸術大学

芸術は、太古から人間の暮らしに潤いを与え続け、常に人間の歴史とともにあった。人間は、芸術によって、自己を革新し、硬直する人間の思考を柔軟なものにしてきた。そして、優れた芸術は人間に知的な飛躍をもたらすものである。

愛知県立芸術大学は、独自の豊かな文化・芸術の伝統が育まれてきた愛知県に創設された「芸術の場」であり、当地域の芸術文化を育み、県内外に発信していくことが求められている。そのために本学は、開学以来培ってきた歴史を継承し、さらに発展させていく必要がある。

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また、愛知が生んだ芸術文化の拠点として、地元愛知はもとより国際的にも開かれた芸術文化の核となることを目指し、大学の理念を次のとおりとする。

○ 愛知県立芸術大学の理念

- 1 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化に携わる優れた人材の育成を目指す。
- 2 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指す。
- 3 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指す。

II 平成28年度事業実績

第2期中期計画4年目となる今年度は、中期計画88項目について取り組んだ結果、教育研究活動をはじめ2大学の管理運営全体について、概ね年度計画を達成した。なお、大項目ごとの特記事項は、以下のとおりである。

1 大学の教育研究等の質の向上

1-1 愛知県立大学

(1) 教育

- 入学者選抜
 - ・全学部・研究科のアドミッション・ポリシーの全面改定、ホームページにおける公開
 - ・オープンキャンパス、学部単位のミニオープンキャンパス、「イマージョン合宿」など様々な取組の結果、一般入試前期日程の志願者数が増加(前年度比101名増の1,965名)
- 学部・大学院教育
 - ・ネイティブ教員による「教養英語相談室」を長久手キャンパスに設置
 - ・29年度より新グローバル人材育成事業として、「グローバル実践教育事業」と「グローバル学術交流事業」の2事業の全学実施を決定
 - ・本学初のダブル・ディグリー協定を台湾静宜大学人文社会科学部台湾文学学科と締結(外国語学部)
 - ・教職員・学部生・院生・留学生・卒業生が学科を横断して集う「県大 日本文化学部の日」を初めて開催(日本文化学部)
 - ・「次世代ロボット研究所」を開設し、企業等との共同研究を開始(情報科学部)
 - ・生涯発達研究所事業として、教員・院生の協働による連続講座を実施(人間発達学研究所)
 - ・33年度から大学院に保健師高度実践養成課程を開設することで合意(看護学研究所)
 - ・前年度に続き、博士課程を早期修了した内部進学による博士学位取得者が誕生(情報科学研究所)
- 学生への支援
 - ・図書館と学部との共同企画展示等による情報リテラシー教育の充実
 - ・新たに名古屋市交通局と連携したテーマの学生自主企画研究を募集、3件を採択
 - ・グローバル人材プログラムの授業「地域ものづくり学生共同プロジェクト」において、学生が海外展開を目指す地元企業9社と連携し、多言語PR記事作成や商品企画を実施
 - ・日本文化学部事業「留学生的愛知ガイドづくり」として、留学生・日本人学生が県内名所を訪問し、多言語パンフレット作成による愛知県の魅力発信を実施
 - ・専門的なキャリアを見据えたプログラムを含む協定をオーストラリアの大学と初めて締結

(2) 研究

- ・研究者データベースの本格運用開始
- ・外部コンサルタント会社による科研費申請サポートの充実(面談件数：H27 10件→H28 17件)
- ・研究支援担当職員向けスキルアップ研修を実施

(3) 地域連携・貢献

- ・愛知県県史編さん室と日本文化学部の共催による展示、講演会、連続講座を実施
- ・全国障害者芸術・文化祭あいち大会と情報科学部の連携によるシンポジウム等を実施

- ・愛知県、名古屋市立大学との協働による「あいち地域づくり連携大学」を実施
- ・「知の拠点あいち」における重点研究プロジェクト（3件）への参画が決定
- ・子育て支援「もりっこやまっこ」事業において10周年記念事業を実施
- ・認定看護師教育課程、看護職を対象とした研修会・個別指導の実施

1-2 愛知県立芸術大学

(1) 教育

- 入学者選抜
 - ・作曲専攻作曲コースにおいて自己推薦特別入試を新たに実施
- 学部・大学院教育
 - ・パリ＝ソルボンヌ大学とのコチュテルの協定に基づき、音楽分野で日本初の博士号学位取得者を輩出
 - ・海外大学との演奏交流事業や瀬戸内国際芸術祭での協定校7校との合同展覧会を実施
 - ・あいちトリエンナーレ2016に参画し、他芸術大学との連携や海外アーティストとの共同制作を実施
- 学生への支援
 - ・SNS等を活用した国際交流に関する情報の発信
 - ・新たにミラノ大学との協定を締結
 - ・ワイマール・フランツ・リスト音楽大学との演奏交流事業に学生11名を派遣
 - ・「芸術学生のための合同企業説明会」の規模拡大（H27:6 大学→H28:7 大学、H27:41 社→H28:55 社）
 - ・宗次ホールとの連携協定による演奏家の自立支援プロジェクト「エマージングコンサート」の実施
 - ・学生相談コーディネーターの雇用による学生相談体制強化、修学支援充実

(2) 研究

- ・曼殊院所蔵「不動明王像」（国宝）、高野山明王院所蔵「不動明王二童子像」（重要文化財）の模写事業の開始を決定（H29～）
- ・日本学術振興会の研究拠点形成事業に芸術大学として初めて採択

(3) 地域連携・貢献

- ・一般社団法人神戸財団とのセラミックコンペティション事業の実施
- ・寄附金約56百万円（寄附金収入計約73百万円）を財源に創立50周年記念事業を実施（計約27,000人来場）
- ・サテライトギャラリーの全展覧会をあいちトリエンナーレ2016パートナーシップ事業として実施し、過去最高の7,984人が来場

2 法人運営の改善

- ・29年度予算編成に向けた、理事長・学長トップマネジメントによる予算編成手法の試行
- ・「事務職員人材育成方針」を全面改正し、名古屋大学との人事交流開始、県への研修生派遣決定（H29～）
- ・職員の「短期海外研修」の本格実施（2名、カンボジア・ベトナム）と学内報告会の実施
- ・職員のワーク・ライフ・バランスの推進のため、ノー残業デーを導入
- ・情報基盤ネットワークシステム（Airis）の更改によりネットワークシステムを統合

3 財務内容の改善

- ・芸術大学創立50周年記念事業における寄附額が記念事業の支出総額約56百万円を上回る累計総額約73百万円(706件)に到達
- ・29年度より全学実施となる「グローバル実践教育事業」への外部資金を獲得
- ・受託研究費や科学研究費補助金等を含めた外部資金の獲得

[単位：件／千円]

区分	年度	県立大学		芸術大学	
		件数	金額	件数	金額
奨学寄附金 (利息含む)	25	9	11,600	6	4,205
	26	12	12,901	293	39,453
	27	11	9,200	426	36,421
	28	18	19,400	257	27,055
受託研究費	25	1	210	4	6,666
	26	3	4,492	8	11,410
	27	5	5,446	10	12,139
	28	7	5,388	7	9,767
共同研究費	25	12	9,823	1	5,000
	26	13	11,713	1	4,482
	27	12	11,090	1	2,500
	28	11	16,417	1	1,935
科学研究費 補助金等	25	153	167,202	8	7,969
	26	155	143,373	9	13,866
	27	149	130,071	11	13,433
	28	148	124,767	9	15,640
受託事業費等	25	3	1,782	7	4,168
	26	2	2,995	13	13,523
	27	3	3,556	11	13,997
	28	1	308	14	26,208
その他補助金	25	4	86,441	0	—
	26	4	77,892	3	1,700
	27	5	67,976	10	3,540
	28	7	54,383	9	3,338
計	25	182	277,058	26	28,008
	26	189	253,366	327	84,434
	27	185	227,339	469	82,030
	28	192	220,663	297	83,943

注1) 科学研究費補助金等の金額については、当該年度の分担金相当額を含めた実受入金額とし、転出及び他機関へ送金する分担額は除く。

注2) 金額については、千円未満を切り捨て

- ・一般管理費比率

法人情報基盤更新、警備・植栽維持管理委託にかかる経費等の増加により、一般管理費比率は7.7%(H27:7.1%)となり、前年度比0.6ポイント増加

4 自己点検・評価及び情報の提供

- ・創立70周年記念事業の企画・実施による教育研究活動等の発信（県大）
- ・創立50周年記念事業の企画・実施による大学ブランド知名度向上の推進（芸大）
- ・法人全体における広報人材育成プロジェクトの実施

5 その他業務運営

- ・学務部職員研修としてLGBT研修を実施（県大）
- ・eラーニングを活用した職員向けコンプライアンス研修や、教職員対象の研究倫理に関する学習コースの受講促進
- ・クラウドによるメールシステムやシンクライアント導入による情報セキュリティの向上

Ⅲ 予算、収支計画及び資金計画

1 予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,865	4,760	△ 105	
自己収入	2,770	2,788	18	
授業料及び入学金検定料収入	2,643	2,648	5	
雑収入	127	140	13	
受託研究等収入及び寄附金収入	296	193	△ 103	
目的積立金取崩	224	0	△ 224	
計	8,155	7,741	△ 414	
支出				
業務費	7,634	7,105	△ 529	
教育研究経費	1,264	1,211	△ 53	
一般管理費	923	819	△ 104	
人件費	5,447	5,075	△ 372	
施設整備費	225	196	△ 29	
受託研究等経費及び寄附金事業費等	296	214	△ 82	
計	8,155	7,515	△ 640	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

2 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
費用の部	7,890	7,533	△ 357	
經常費用	7,890	7,532	△ 358	
業務費	6,689	6,393	△ 296	
教育研究経費	1,142	1,166	24	
受託研究費等	100	53	△ 47	
人件費	5,447	5,175	△ 272	
一般管理費	495	411	△ 84	
財務費用	44	36	△ 8	
減価償却費	663	692	29	
臨時損失	0	1	1	
固定資産除却損	0	1	1	
収入の部	7,890	7,784	△ 106	
經常収益	7,890	7,783	△ 107	
運営費交付金収益	4,865	4,760	△ 105	
授業料等収益	2,446	2,473	27	
受託研究収益等	261	190	△ 71	
財務収益	1	0	△ 1	
雑益	162	171	9	
資産見返運営費交付金等戻入	134	160	26	
資産見返物品受贈額戻入	22	28	6	
臨時利益	0	1	1	
資産見返運営費交付金等戻入	0	1	1	
純利益	0	251	251	
目的積立金取崩	—	0	0	
総利益	0	251	251	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

3 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
資金支出	18,026	9,449	△ 8,577	
業務活動による支出	7,206	6,751	△ 455	
投資活動による支出	10,027	1,560	△ 8,467	
財務活動による支出	524	543	19	
次期への繰越金	269	595	326	
資金収入	18,026	9,449	△ 8,577	
業務活動による収入	7,930	7,627	△ 303	
運営費交付金による収入	4,865	4,760	△ 105	
授業料及び入学科検定料による収入	2,643	2,550	△ 93	
受託研究等収入	165	58	△ 107	
寄附金収入	96	46	△ 50	
補助金収入	—	58	58	
その他収入	162	154	△ 8	
投資活動による収入	9,374	1,195	△ 8,179	
前期よりの繰越金	721	627	△ 94	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

IV 短期借入金の限度額

該当ありません。

V 重要な財産の譲渡、又は担保に供する計画

該当ありません。

VI 剰余金の使途

該当ありません。